

環境調査結果のお知らせ

平成22年4月21日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年4月21日午前10時から、浦ノ内湾の環境調査をしましたので結果をお知らせします。

概況

透明度は、全地点で3.5mでした。水温は17～20℃、塩分は前日の降雨の影響で表層がやや低くなっていました。溶存酸素濃度は5～9mg/lの測点がほとんどでしたが、養殖漁場周辺の底層では3mg/l以下に低下していました。前回やや多く確認されたヘテロシグマ・アカシオはほとんど見られなくなっていました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は17.0～19.5℃で、前回調査(平成22年4月13日)と比較して1～2℃程度上昇していました。また、表層の水温が底層よりも2℃以上高くなっており、成層が形成されていました。塩分は18.95～32.93で、前回調査よりも上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

溶存酸素濃度は2.8～10.1mg/lでした。養殖漁場付近の溶存酸素濃度は2～10mg/l台で、底層の貧酸素化が始まっていました。しかし、10m以浅は5mg/l以上あり、養殖魚にとって適度な状態でした。

プランクトン(表4・5)

養殖漁場周辺の透明度は3.5mでした。プランクトンはケイ藻類が増えてきており、その他にプロロセントラム・マイカンスが1～20cells/ml確認されました。出現していたプランクトンは、魚類に対して基本的に無害の種類でした。

湾内はこれからプランクトンの増殖期に入ります。海面の着色変化に注意してください。海の状態や養殖魚の状態に不安を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.4.13)	
						湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	19.8	19.5	19.5	19.0	19.5	17.5	2.0
2m	18.4	18.5	18.5	18.5	18.5	17.3	1.2
5m	17.7	17.9	18.2	18.4	18.1	17.1	1.0
10m	17.3	17.6	17.9	-	17.8	16.8	1.0
B-1m	17.2	17.0	17.0	18.4	17.0	16.5	0.5

※ 目の糞・光松の平均値

表2 塩分

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.4.13)	
						湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	21.34	18.95	26.54	28.13	22.75	12.22	10.53
2m	31.85	31.84	31.75	31.73	31.80	30.70	1.10
5m	32.34	32.49	32.61	32.60	32.55	32.22	0.33
10m	32.72	32.80	32.85	-	32.83	32.80	0.03
B-1m	32.76	32.93	27.17	32.96	30.05	33.03	▲ 2.98

※ 目の糞・光松の平均値

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前	湾内平均 ※	前回調査(H22.2.22)	
						湾内平均	前回との差 今回-前回
0m	10.1	9.1	8.2	7.1	8.6	6.0	2.7
2m	8.1	7.9	8.3	6.7	8.1	5.5	2.6
5m	6.7	6.1	7.0	6.1	6.6	5.4	1.1
10m	4.9	4.9	5.6	-	5.3	5.4	▲ 0.1
B-1m	4.4	2.8	3.0	6.1	2.9	4.7	▲ 1.9

※ 目の糞・光松の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学前	目の糞	光松	水試前
水深(m)	12.8	16.3	18.0	10.2
透明度(m)	3.5	3.5	3.5	3.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		プロロセントラム・ マイカンス	ジャイロディニウム・ ドミナンス	ゴニオラックス・ ポリグラマ	プロトベリディニウム	ヘテロシグマ・ アカシオ	その他
中学前	0m	56	12	2	0	4	ケイ藻類
	2m	13	6	1	1	1	
	5m	19	7	2	0	0	
目の糞	0m	6	3	4	5	0	ケイ藻類
	2m	4	2	6	3	0	
	5m	7	2	4	1	0	
光松	0m	20	0	0	3	0	ケイ藻類
	2m	4	2	2	2	0	
	5m	1	0	4	3	0	
水試前	0m	2	0	8	0	2	ケイ藻類
	2m	0	0	0	2	0	
	5m	3	1	1	3	0	